

『母の日参り』パートナーシップ 2019年度 共同企画

## 第2回『母の日参り』手紙コンクール開催

草刈正雄さんを新選考委員長に迎え、“亡き母への手紙”を公募



天までとどけ！  
「前略お母さん…」

母の日参り  
第2回 手紙コンクール

「母の日」は、亡き母を偲ぶ一人の女性の呼びかけから始まったと言われます。そんな記念日の原点に想いを重ね、亡くなられたお母さんに「母の日」のお手紙を送りませんか。天まで届けたい真心を綴られたメッセージを募集いたします。

作品募集



選考委員長  
草刈 正雄

応募締切 2019年3月29日(金)

- 「母の日」にまつわる新たな祈りの習慣、『母の日参り』の普及をめざし有志企業・団体12者が連携する『母の日参り』パートナーシップでは、昨年初の試みながら大きな反響を呼んだ『母の日参り』手紙コンクールを今期も継続し(第2回)の開催を発表。初回の中村獅童さんからバトンを受け継ぐ新選考委員長に俳優の草刈正雄さんを迎え、亡き母への想いを綴った手紙作品を広く一般から公募する取組みを、本日2月5日(火)より開始いたします。応募締切は3月29日(金)、受賞発表は4月末頃の予定です。
- 昨年、初開催となった第1回『母の日参り』手紙コンクールでは、2ヶ月にも及ばぬ短い募集期間にもかかわらず、全国の小学生から90才代にわたる幅広い年代層からく1,857篇もの作品が寄せられました。その中から見事(金賞)に輝いたのは、静岡県在住の89才男性の「白い目薬」と題した、幼い頃の母との微笑ましいエピソードを綴った作品。第1回選考委員長の中村獅童さんが朗読発表した際の動画がソーシャルメディア上で拡散し、大きな反響を呼びました。
- 今回、新たな選考委員長への就任が発表された草刈正雄さんは1970年、男性化粧品CMでのデビュー以来、映画・ドラマ・舞台・CMに数多く出演、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」では“昌幸ロス”なる社会現象を惹き起こし、さらに今年4月期のNHK朝の連続ドラマ「なつぞら」への出演も控え、母を見送った世代の代表として『母の日参り』の意義を呼びかける、その社会的な発信力に大きな期待が寄せられます。

■ 今期の募集要項も昨年に準じて、“亡き母への手紙”をテーマに、400～600字程度の書簡形式で表現された未発表・オリジナルのノンフィクション※1作品を、同事務局への郵送もしくは『母の日参り』公式サイト上の応募フォーム(<https://hahanohi-mairi.jp/>)にて受け付けます。募集期間は本日2月5日(火)から3月29日(金)までとし、応募作品中8篇に対し〈金・銀・銅〉の各賞を授与いたします。

※1: 実際に亡くなられている実母・義母・養母、あるいは母親的存在の方に宛てた手紙作品に限ります。

新選考委員長の草刈正雄さんをはじめ、初回から選考委員を務めるマーケティングライターの牛窪 恵さん、パートナーシップから新たに選出の代表2者から成る選考委員会では、けっして優劣をつける審査でなく、各委員の特に心惹かれた、印象に残った作品の選定にあたり、みごと〈金賞〉に輝いた受賞作品については4月末頃に開催予定の『母の日参り』パートナーシップ2019年度共同プレス発表会※2の席上、草刈正雄さんより発表いたします。

※2: 共同プレス発表会の詳細については後日、報道各位にご案内いたします。

さらに受賞された全作品は『母の日参り』公式サイト上で5月上旬頃より公開の予定です。

## 第1回『母の日参り』手紙コンクール《金賞》受賞作品

### 「白い目薬」 余白さん(男性・89才・静岡県)作

母さん、冥界(そこ)からオレが見えますか。

オレ、来年は遂に九十の大台。母さんの享年を遥かにこえます。

丈夫に育ててくれてありがとう。

母さんとの思い出はキリがないけど中でもとっておきはこのエピソード。

小四の頃、歳の瀬の路地裏でマンコ遊びに興じていると

一陣の突風に襲われて目にゴミが。

「痛ッ！」慌てて家の中へ駆けこむと

母さんが「ヤッ大変」と赤子の弟を脇へ置き、左の二の腕でオレを支え、  
右手で乳房を掴むとオレの目めがけて勢いよく絞りだす集中放乳？作戦。

その一条の白い目薬はすっかりゴミを洗い流してくれたっけ。

八十年後の今も母さんの肌の温もりと共に鮮やかに覚えています。

母さん、オレが母さんの許へいける日は遠くない。

五十年ぶりに会える母さんはどんな迎え方をしてくれるだろう。

母さんはお茶目だからこんなこと言いそう。

「アレ、えらいお年寄り。もしかしてわたしの父ちゃん？」

そしたらこう返してやろう。「三男静雄只今母上の御許へ参上」。

## 選考委員のご紹介

### ■ 選考委員長

#### 草刈 正雄さん (俳優)

1952年9月5日生まれ。福岡県北九州市出身。  
1970年、男性化粧品のCMで一躍脚光を浴び、以来、映画・ドラマ・舞台・CMに数多く出演。中でも2016年の大河ドラマ「真田丸」で真田昌幸を熱演し大きな話題に。今年4月からはNHK連続ドラマ小説「なつぞら」に出演。



#### 草刈正雄さん〈応募作品に対する期待〉メッセージ

生前よく言い聞かされた母の言葉。

「ありがとう、ごめんなさいと、素直に言える人間になりなさい」

歳を重ねる毎に素直になりたいと思っている

今の私の根源になっていると思います。本当に感謝しています。

亡くなくてもずっと繋がっている母との絆…。

それを心の糧として今日を前向きに生きる皆様からの

素敵な作品を楽しみにしています。

### ■ 選考委員

#### 牛窪 恵さん (マーケティングライター)

1968年東京生まれ。日大芸術学部 映画学科(脚本)卒業後、大手出版社に入社。フリーライターを経て、2001年、マーケティングを中心に行う(有)インフィニティを設立。トレンド、マーケティング関連の著書多数。「おひとりさま(マーケット)」(05年)、「草食系(男子)」(09年)は、新語・流行語大賞に最終ノミネート。



#### 牛窪 恵さん〈応募作品に対する期待〉メッセージ

亡くなったご両親への「ありがとう」の裏に、

百人百様の温かい思い出があります。

今年も(作品の選考に)ご協力できて幸せです。

#### 大見 英明 (生活協同組合コープさっぽろ 理事長)

#### 引地 大介 (株式会社亀屋万年堂 代表取締役社長)

## 『母の日参り』パートナーシップについて

- 「母の日」は、100余年前のアメリカで亡き母を偲ぶ一人の女性の呼びかけから生まれたと伝えられます。日本でも戦後の1947年、アメリカに倣って「5月の第2日曜日は母の日」と制定されたといわれ、以来、長きにわたり母親に日頃の感謝を表す“ギフト記念日”として親しまれてきましたが、近年、記念日の原点回帰を想わせるように、亡き母の墓前を訪ねる『母の日参り』が広がりを見せています。
  - (株)日本香堂の調査※3によれば、40代以上の男女生活者におけるゴールデンウィークから母の日にかけての墓参実践率は、2007年－2017年比較で約1.7倍にも拡大しており、そこには母親を見送った世代で〈モノ〉に代わって〈祈り〉を贈る、新たな母の日文化の芽生えが窺えます。  
※3:「お墓参りに関する調査」(2008年1月)・「母の日のご供養に関する意識・実態調査」(2017年3月)、全国・40代以上・男女対象のインターネット調査
  - 長寿社会の我が国に生まれた『母の日参り』の美風を、さらに広く社会に伝えていこうと、業界の垣根を越えた有志企業・団体により結成された共同体が『母の日参り』パートナーシップであり、2018年度から6企業・6団体、計12者のメンバー構成で協議を重ね、連携を深めています。
    - 株式会社 日本香堂
    - JAグループ和歌山
    - 株式会社 日比谷花壇
    - 一般社団法人 PRAY for (ONE)
    - 一般社団法人 全国優良石材店の会
    - 一般社団法人 日本石材産業協会
    - 株式会社 亀屋万年堂
    - 株式会社 清月堂本店
    - 生活協同組合 コープさっぽろ
    - サントリーフラワーズ 株式会社
    - 一般社団法人 花の国日本協議会
    - 日本郵便 株式会社
- ※順不同
- メンバー各者は互いの取組みにエールを送り合いながら『母の日参り』普及に向けてそれぞれの活動を展開すると共に、“時代の空気づくり”に向け共同してPR活動に当たるとし、新年度も継続開催される『母の日参り』手紙コンクールもその公式活動の重点テーマに位置づけられるものです。

## 第2回『母の日参り』手紙コンクール 募集要項

名 称	第2回『母の日参り』手紙コンクール
主 催	『母の日参り』パートナーシップ事務局
内 容	<p>“亡き母への手紙”をテーマに、400～600字程度の書簡形式で表現された未発表・オリジナルのノンフィクション作品を募集。</p> <p>応募作品の中から〈金賞〉1篇・〈銀賞〉2篇・〈銅賞〉5篇を選定し、発表します。</p> <p>※応募数自由。封書でのご郵送の場合、用紙も自由。</p> <p>※作品の題名は特に必要としません。</p> <p>※実際に亡くなっている実母・義母・養母、あるいは母親的存在の方に宛てた手紙作品に限ります。</p> <p>※個人情報は主催者が厳重に管理します。</p> <p>※応募作品の著作権は主催者に帰属するものとします。</p>
応募期間	2019年2月5日(火)～3月29日(金) ※郵送の場合、3/29の当日消印有効。
応募方法	事務局宛てに郵送(ハガキ・封書)、または『母の日参り』公式サイト上の応募フォームより。
応募先	<p>《郵 送》 〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル5F 公募ガイド社内 「母の日参り」手紙コンクール係</p> <p>《サイト》 <a href="https://hahanohi-mairi.jp/">https://hahanohi-mairi.jp/</a></p>
必要事項	手紙作品、氏名、ペンネーム、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号
賞／副賞	〈金賞〉10万円商品券 1名、〈銀賞〉5万円商品券 2名、〈銅賞〉2万円 商品券 5名
選考委員	<p>〈選考委員長〉 草刈正雄さん (俳優)</p> <p>〈選考委員〉 牛窪 恵さん (マーケティングライター)、 大見 英明 (生活協同組合コープさっぽろ 理事長)、 引地 大介 (株式会社亀屋万年堂 代表取締役社長)</p>
結果発表	〈金賞〉受賞作は4月末頃に開催予定のプレス発表会の席上、草刈正雄さんより発表。 全受賞作品は『母の日参り』公式サイト上で5月上旬頃より公開の予定です。
お問合せ	<p>《TEL》 03-5405-2063 (平日10～17時)</p> <p>《メール》 <a href="mailto:hahanohi-mairi@koubo.co.jp">hahanohi-mairi@koubo.co.jp</a></p>

### 本件に関するお問合せ先

『母の日参り』パートナーシップ事務局 (担当: 吉野)

〒104-8135 東京都中央区銀座4-9-1 (株)日本香堂 内

TEL.03-3541-3473 FAX.03-3541-3579

E-mail: [k-yoshino@nipponkodo.co.jp](mailto:k-yoshino@nipponkodo.co.jp)